

令和3年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和3年9月27日（月）14：00～15：30
- 2 場 所 辛立文化センター
- 3 出席者 【委員】尾崎委員 柿木委員 樫原委員 金子委員 多田委員 筒井委員
山田委員
【事務局】増田市民部長 山田課長 田村係長 山本主任主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第 1 開会
2 会長あいさつ
3 議事
（1）男女共同参画週間事業について
（2）次期プランについて
（3）その他
4 閉会
- 6 配布資料 資料1 令和3年度 男女共同参画週間事業実施報告書
資料2 次期プランアンケートについて
資料3 男女共同参画につながる取組状況調査（案） 外

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞（14：00）
事務局	本日は、御多忙の中、御出席いただきありがとうございます。只今から令和3年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会 筒井会長から御挨拶申し上げます。
	＜会長あいさつ＞
事務局	それでは、会議の進行は、さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、筒井会長にお願いします。
会長	まず、会議の公開についてです。本会議は、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、「原則公開」となっています。非公開の案件がない限り、公開とすることとします。まず、傍聴申請について、人権推進課長から報告してください。
事務局	現在のところ、傍聴希望はありません。いまのところ傍聴の希望はありませんが、会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。

会長	はじめに、本日の会議についてですが、新型コロナウイルス感染防止対策として短時間で行いたいと思います。終了予定時間を15時30分頃としたいと思います。御協力をお願いします。早速ですが、議事1「男女共同参画週間事業について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間事業報告
会長	事務局からの説明が終わりました。パネル展受付などで御協力いただいた皆さんに、感想をお聞きしたいと思います。
委員	訪れる方は、皆興味を持ち、熱心に見てくれていた。質問などにはわかる範囲で回答し、その他にも交流でき、和気あいあいとした雰囲気でもよかった。しかし、パネル展があるということを市民全体が知っているとは言えない。より多くの人に知ってもらえたらと思う。
委員	あの場所で、あの展示をすることは重要だと思っている。毎年展示だが、展示内容も時代の流れとともに変遷をたどっており、とてもよいと思った。出展者が多いのもよい。作品コンテスト(川柳・俳句の部)で仲間が入賞したのだが「こんなことは人生でそうそうない。(募集について)教えてくれてありがとう。」と言って大変喜んでいた。このように、少しずつでも多くの人に関わってもらうこと、男女共同参画週間やパネル展についてもっと知ってもらうことが大切だと思う。
委員	全体として、素晴らしい展示内容だと思う。昨年度を超える来場者だったということだが、もっとPRを工夫し、多くの方に来てもらいたい。私がパネル展の受付をしていたときは、家族連れが多く訪れた。皆で子どもの作品展示を見に訪れたようだった。訪れるには何かのきっかけが必要。子どもの作品を増やせたら、来場者も増えるかもしれない。個人的にはSDGsの展示がよかった。詳しく書かれており、勉強になった。たくさん展示があるので、それぞれのタイトルをもっと大きく掲げたほうがよい。
委員	コロナ禍で外出を控える人も多い中、これだけの来場者があったことはすごいと感じる。PRについて、まちおこし協力隊の折原さんにSNS発信してもらえば、若い人にも知ってもらえるのではないか。これからは、SNSをうまく活用していくことが必要だ。
会長	その他、何かご意見等ありましたら挙手をお願いします。
委員	(質問なし)
会長	次に、議事2「次期プランについて」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施までのスケジュール ・前回協議会の議事内容振り返り ・国、県の計画について

会長	<p>では、事前送付資料でお願いしておりましたとおり、次回アンケートについて「今回は省いたほうがよいと思う質問」・「新しく聞いてみたらよいと思う質問」やその理由、「その他気になること」について、お一人おひとりに意見をお聞きします。</p> <p>その際、前回アンケートを参考にする場合は、ページや問題番号をお示しください。</p>
委員	<p>中学生アンケート P42 問 2 通っている中学校を聞く質問があるが、これはなぜか。</p>
事務局	<p>前回以前のアンケートでも所属中学校を聞く設問があり、経年比較を見るためではないか。</p>
委員	<p>何か課題が見つかった場合に対応できるように、という意見もあったのではないだろうか。</p>
委員	<p>中学生のアンケートは、どのように配布し、どのように回収するのか。</p>
事務局	<p>直接あるいは逡送での配布・回収となる。学校には、封入された状態で配布、回収を依頼する。</p>
委員	<p>以前、中学生 21 名と懇談する機会があった。その会の最後に、「あなたが（いじめの）被害者となった場合にどのような行動を起こしますか」と問うた。回答で 1 番多かったのは「友達に相談する」だったが、2 番目に多かったのは「我慢する」だった。全体の 4 割にのぼった。中学生アンケートの間 13 で「悩みを相談できる人は誰ですか」という質問があるが、「あなたが当事者となったときどう考え、行動しますか」という質問は無い。これは問題ではと感じた。ハラスメントなども同じで、当事者となったときにどう考え行動するか、という問を入れてほしい。誰か相談する人を見つけてほしい、という狙いがある。法務省の人権擁護機関では、各学校に「子どもの人権 SOS ミニレター」というものを配っている。今回の結果では、「一番の相談相手は友達」との答えが多かったので、ぜひ友達、難しければ大人に相談してほしいと思っている。</p>
委員	<p>調査報告書【概要版】P7「望ましい女性の働き方」の部分が気になった。中学生の約半数が、「子どもが産まれたら、育児のために仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をする」と答えたことを個人的には意外に感じた。子どもが置かれている家庭の状況や家族との会話の現実を見たような気がした。また、同 P9「日常生活に対する考え方（現実と理想）」について、両者にギャップがあるのは当然だが、意外だったのは、2 番目に多い回答が「仕事と家庭を優先する」となっていたことだ。皆、プライベートのことをあまり思わないのかな、と。自分のことは後回し、という現実を反映している気がした。次に、同 P13「家庭生活の役割分担」の現実について。夫婦どうしがバランスよく担うのが本当かと思うが、例えば「日常の家事」や「日常の家計の管理」の 7 割が妻、となっているのを見て、女性がやりやすいこと、男性がやりやすいこと、というのが表れているのかな、何でも一緒ではない、ということが表れていると思った。</p>
委員	<p>私も中学生の意識についての部分が気になった。P12「家庭生活に対する考え方」について、「①男は男らしく、女は女らしく」や「⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」の設問に対し、市民全体よりも中学生の方の賛成が多い。もしかしたら、中学</p>

生の方が保守的であったり、その方が楽という風に思っているのかもしれないが…。設問のあり方については、性別記載欄が男性女性だけでなく、「答えたくない」を入れてもいいのかな、と思う。次に、市民アンケート問3で同居家族を聞く意味は何だろうか。過去との比較があるので、なるべく同じ設問でいくのがいいとは思いますが。また、P105問16の質問はわかりにくく、答えにくい。仕事と家庭、プライベートのどれを優先するのか、という意味だと思うが、この質問の意図がわからない。選択肢7「すべて優先する」はできないと思う。「すべてのバランスを取る」が正しいのではないか。P108問20について。「結婚している方…（問5で「1」、「2」と答えた人）」とあるが、「結婚している」となると、「1」のみが対象となるのでは。同ページの間21の間もわかりにくく、難しい。中学生アンケートP46問13について。悩みを相談出来る人の選択肢7は、ひとり親家庭を考慮すると「父親または母親」と表記するのが適しているのでは。

委員

調査報告書【概要版】P7「望ましい女性の働き方」について。中学生は再就職のリスクを知らないために、このような回答をした人もいるのではないか。そういった部分について、より子どもたちがわかる内容や説明にできないかな、と思った。自身の家庭の状況がアンケートに赤裸々に出ているのでは、と感じた。選択肢の中の「女性は仕事をしないほうがよい」（7%）については、その理由を知りたいと思った。P12問3の選択肢4「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」について、中学生の数値が高いことを個人的には杞憂している。考え方は成長とともに変わるとは思うが、基本的な考えとして結婚しなくてもいい、というのはこれでいいのだろうか、と。「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」についての結果は、現場をすべて表しているのではないだろうか。結婚は教職員と中学生の%がほぼ一緒であるので、そういう教育がなされているのかもしれない。結婚や子どもを持つことについて、子ども達がよいイメージを持てるような表現ができるのでは、と思った。

委員

そもそも、一般論として、女性の社会進出は望ましいことだと思うが、夫の収入が多く経済的に豊かであったとしても、女性として生きがいを得ると言う観点から社会の一員としてやるべきことがあると思うかどうか、というのを聞いてみたい。夫の収入だけで豊かに暮らせる家庭と、夫の収入だけでは経済が成り立たない家庭では、考え方が違うのかな、と。社会に進出するという事は、仕事をすることだけではなく、地域活動やNPOなど、他にも選択肢があるのでは。いじめの問題において、私は唯一無二の味方は「家族」だと思っている。例えば、私の味方は妻であり、子どもの味方は私達両親ではないか。いじめに関する事件について、子が両親に気を遣って相談しないと聞くことがある。なぜなのだろう。思春期だからなのか、親が忙しすぎるからなのか…家族のコミュニティのあり方を問われているような気がする。確かに、友達と仲良くすること、友達のひとりで救われることもあると思うが、そもそもの大前提をどう考えていくのか。男性も女性も日常で生きがいを感じられるのは大事だが、家庭のコミュニティがどうあらねばならないかを考えることも大事だと思う。ポイントは、あるべき論ではなく、納得論ではないか。例えば、ある家庭で、妻が「夫婦の所得にあまり差はないのに、育児家事を私ばかりがやるのはおかしいのではないか。」というのによくある話。夫婦がどういう役割分担かは、家族が合意形成をし、納得していればいいのではないか。そこについて一方が納得できないままに、料理は女性がすべき、子育ては女性がすべき、となっている。これでは納得性がないので揉め事が起こる。もし夫の収入が多く、生活に困らないのであれば、生活のために働く必要がなくなる。心を満たすための地域活動に身を投じるのもいいのでは。

男女共同参画を後ろ向きに捉えているように思われるかもしれないが、本質的な問いがあってもいいかもしれない。中学生の回答については、「親がそうだから自分もそうあるべき」という風に思っているのでは。幼少期に受ける影響としては、母親の方が大きい。日常の生活は母親が全部仕切っている。自分の中では、それでいいのでは、と思っている。妻に放り任せるのではない。ただ、経済的な問題を優先すると、家庭のコミュニティはおろそかになる。それが子どもの不幸につながることもある。本質はどこにあるのか。と感じている。もう一つ。企業で取り組んでいるSDGsの取組について聞きに来た父子がいた。父親が子に、地域での取組をまとめさせようとしているので、「そうではなく、お母さんが家でゴミの分別をしているでしょ。食べ物は残さず食べているよね。それがSDGsだよ。」と伝えた。世界の貧困を止めるために我々が日々何をやったらいいか、というところから考えると、テーマが遠すぎて我が事として考えられない。プラスチックで考えると、再生回数によってプラマークの横の数字が変わる。そういう身近なこと、例えばプルタブを集める、残さず食べるなど、そういう活動が世の中にあることを知って、自分にどういう協力ができるかを考えることがSDGsだ。いじめについては、大人にも問題がある。こんな話を聞いた。車いすの方が列車に乗る際、駅員が手伝うために構内アナウンスで何番口と言っているのを聞いた痴漢やスリがその号車に乗ると言う。被害者が言うのは、声を上げて、誰も見向きもしてくれない。そういうことに関わるのは、実は大人にとっても勇気のいることで、巻き添えになるのを避けたいという、無関心、ことなかれ主義の面がある。それが子どもに伝播しているのではないだろうか。最近の子どもたちは、昔自分たちがそうであったようには、近所のおじいさんやおばあさんから怒られるといった経験をしていない。市民アンケートの中に、「身近な問題があったとき、子どもに見せるためにどういった振る舞いをするのか」大人としての振る舞いについて問うものがあったもいいと思う。「男女共同参画」とわざわざ謳わないといけなくなってしまった根底には何があるのかを問うものがあったもいいのかもしれない。個別の質問では、気になったところはない。答えのない問かもしれないが、上面で行き来している部分もあるのかもしれない。全体解決にならずとも、答えがなくとも、できるところから問題にあたっていけたらいいと思う。

委員

今、委員がおっしゃったように、家庭内で男女役割分担について話し合っとうまく合意形成が齟ればそれでいいと思う。「こうでなければいけない！そのために男女共同参画はある！」というのではない。「多様性」という言葉もあるように、昔ながらの役割分担をよし、とするのではなく、今はこんな生き方もある、と認めるための男女共同参画であり協議会だと思っている。その中では、今までの考え方があまりにも偏りすぎていたために、アンケートにおいても意識的に一見過激に見える質問も入っているのかな、と思った。確かに、夫に5、60万の収入があるなどの場合、女性は自分は働きに出なくてもいい、という人もいるかもしれない。ただ、私の個人的な意見をいうと、自分の手で稼ぎたい、自立したい、という思いがあり、そこは認めてほしい。必ずしも、皆が皆よいパートナーに巡り合えるわけではなく、また人生を思い通りに全うできるわけでもない。私の友人に、若くして夫を亡くした人がいた。夫に頼りきりの生活をしていたので、子ども3人を抱え、収入がなく大変困ったそうだ。どうやって生活したらいいかわからず、一家心中も考えた、と。そういう目で見ると、長い人生ではいろんなことがあるので、どちらかだけに頼り切りというのではなく、皆で助け合いバランスよく暮らせたら、と思う。男性が一家のすべてを背負う、というのではなく、男性には気負わず少しでも楽に生き、自分のライフスタイル・趣味を楽しんでほしいし、女性も自分自身の生き方を持ってほしい。互いの生き方をそれぞれが認め合うような社会に、少しでも近づけていけたらと思っている。アンケートで

	<p>気になったのは、市民アンケートの分量が多いこと。力を入れるのはわかるが、15ページあり、他は7～9ページ。回収率を見ても、他に比べると低い。量だけの問題ではないのかもしれないが、回収率を少しでも上げるには、「これぐらいなら書いてみようかな」と思えることが大切ではないか。似たような質問は省く工夫も必要ではないか。また、先ほど、他の委員さんも言っていたが、P108問21、22の現実と理想についての質問である。後から集計結果を見ると「なるほど」となるが、回答している本人は「どっちでもいいよ」となるかもしれない。このような質問は省いてもいいのかもしれないと思った。市民アンケートの順番を変えたほうがスムーズにいくのかな、と思った。詳細については改めて事務局にお伝えする。</p>
委員	<p>社会を見ると、裕福なのは一握りで、多くが貧困層、という風になってしまった。今はパートナーが両方働いて家計を支えるのが最も一般的であるとされる時代なのに、高度経済成長期のときの記憶、考え方のままであることによるしわ寄せがきている。若い世代は、頭では、「一緒に働いているのだから男性も家事を担うのは当たり前」という意識を持っているものの、「では何をしたらいいか」については教えてもらっていない、男児というだけで優遇されている部分も多いため、気付かないことが多く「言ってくればやったのに。」となるのだが、女性は女性で「そんなのいちいち言えないよ。子どもであるまいし。」と感じ、揉め事のきっかけになる。また、例えば、夫から離婚を言い渡された妻は、不安定になる。自分の力で生きていく、自立できるというのが、これからの不確実な時代を生きていくには必要なのかな、と思う。アンケートの性別が男女しかないのは私も気になった。様々なアンケートの性別の設問を見ると、3番目に「その他」か「答えたくない」がある。統計的に「男女」で聞きたいのかもしれないが、これから10年先を見据えるのであれば、このような選択肢は必要だ。また、防災の項目がないので、次のアンケートではぜひ入れてほしい。その他、言い回しなど気になるところもあるので、改めて伝えたいと思う。</p>
会長	<p>質問や、補足はないか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
会長	<p>では、事務局からその他はありますか。</p>
事務局	<p>はい。まずはご意見いただき、ありがとうございます。次期プラン策定準備にあたっての参考とさせていただきます。その他、気になることがあれば、意見をお寄せください。</p> <p><事務連絡></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料3】男女共同参画につながる取組状況調査（案）について。（内容説明）御意見のある方は、配布の用紙に記入の上、お出しください。皆さんからいただいた意見を参考に作成したものを、11月の男女共同参画推進本部会議で報告した後、市ホームページで公開する予定です。 ・次回会議の日程については、2月21日か25日で考えておりますが、いかがでしょうか。（委員了承）次回も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。 ・本年度で、協議会委員2年の任期が満了となります。新型コロナウイルスの影響でご意見をお伺いする時間が短く、大変心苦しく思っております。<u>次回の会議では、皆さんに、この2年間で振り返って思うことや、お一人おひとり今後どのように男女共同参画に関わっていきたいか等、お伺いしたいと思います。</u>詳しくは次回の案内文等で

<p>会長</p> <p>委員</p> <p>会長</p> <p>会長</p>	<p>お知らせします。よろしくお願いいたします。</p> <p>外に委員の皆さんから質問などはありますか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは最後に、増田市民部長から、あいさつをお願いします。</p> <p>〈市民部長あいさつ〉</p> <p>ありがとうございました。本日も熱心な議論をありがとうございました。これで令和3年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。次回は、それぞれの考えについて、ざっくばらんに意見交換できたらと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜ 閉 会 ＞ (1 5 : 3 0)</p>
---	---